

Mountain Lionの起動メディアを作る方法

OS 10.8 Mountain LionからOSの起動ディスクは供給されなくなりました。10.8にバージョンアップするには10.6か10.7からのみ対象でApple Storeからの購入となります。

■購入方法

iTunesのサイトで「OS X Mountain Lion」を検索し購入します。



「バッグに追加」をクリックして購入します。

申し込んで2～3日すると、Apple ボリュームライセンス事務局からダウンロードに必要なコードと暗証番号を記載したメールが届きます。これに従いバージョンアップします。



「続ける」をクリックしインストーラーの指示に従い、作業をすればすればバージョンアップは完了です。

■起動ディスクを作成する

ここで問題があります。OSのバージョンアップに成功しても、緊急時に再インストール出来る起動ディスクイメージが何処にも残っていません。リカバリーディスクから復元することは可能ですが、ユーザー心理として緊急用起動ディスクは外部メディアに保存して起きたいものです。Apple Storeでは無償での再ダウンロードサービスはありませんので、何らかの方法で起動ディスクを作成する必要があります。ここでは小生の手順を説明しておきます。

1. インストーラーを探す。

OSのバージョンアップはApple Cloud上で行ったため、アップデータは何処にも保存されていません。全ての搭載ディスクの中身を検索しました、何処にもありません。

「もしかして不可視になっているのか？」と思いつき、Spotlightで「Mountain Lion インストール」と入力して「ファインダーに全てを表示」を選ぶと多数の該当項目が検索されました。



このアイコンを「controlクリック」でデスクトップのドラッグドロップでコピーします。



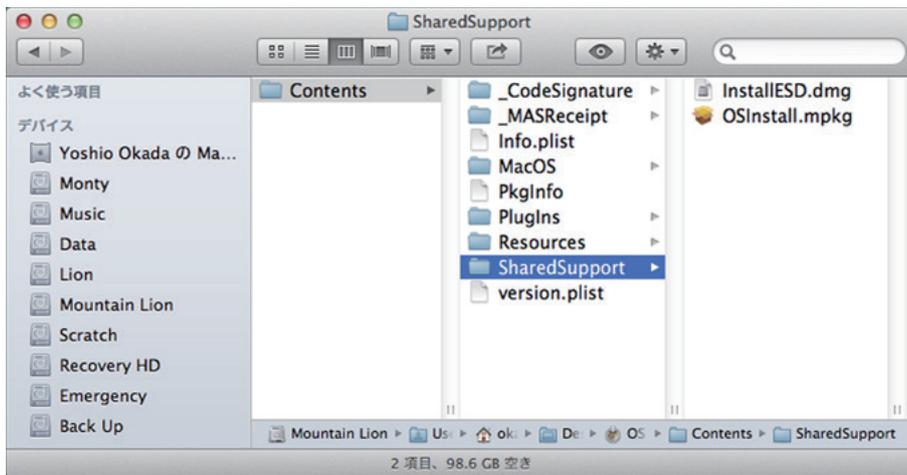
めでたくインストーラーがデスクトップにマウントされました。

2. インストーラーのリソースを探す

このまま「Mountain Lion インストール.app」を外部メディアに保存しても、単なるバージョンアップアプリケーションなので、そのメディアから起動することは出来ません。起動するにはOSの起動ディスクが必要です。

3. OS起動リソースを探す

デスクトップにマウントされた「Mountain Lion インストール.app」のアイコンを「controlクリック」し、「パッケージの内容を表示」を選択します。



Contents/SharedSupport/から InstallESD.dmg をデスクトップにドラッグドロップでマウントさせます。

4. インストーラーを解凍

上記3でマウントさせた InstallESD.dmg を Wクリックで開くと、Mac OS X Install ESD のイメージディスクがデスクトップに表示されます。



5. 起動用外部メディアを用意する

イメージディスクの容量を確認すると、4.7GBになっており、一枚のDVDディスクには納まりません。かと云ってハードディスクでは大き過ぎるので、8GBのUSBメモリを使用しました。

USBメモリの初期フォーマットはWindows用、Fat32でフォーマットされています。このままではMacの起動メディアにはなりませんので、Mac用にフォーマットします。

6. メディアをMacフォーマットに変更する

Applications/Utilitiesの中の「ディスクユーティリティ」を開きます。

左側のデバイスウィンドーから挿入したUSBメモリを選択します。

パーティションタグから「1パーティション」を選び名称を「Mountain Lion Installer」とし、パーティションマップの下にある「オプション」鈕を押し表示されるパーティション方法から「GUIDパーティション」を選んで、「OK」鈕を押せばUSBメモリが「Mac OSジャーナル/GUID」でフォーマットされます。

7. 起動用USBメモリを作成する。 ディスクユーティリティを開きます。



右上のタグメニューから「復元」を選択します。
ソース欄の右の「イメージ」をクリックして「Mac OS X Install ESD」を選択します。
復元先に「Mountain Lion Installer」USBメディアを指定します。右下の「復元」をクリックすればUSBメディアに起動用インストーラーが書き込まれます。

8. 起動用USBメモリの確認。



システム環境設定から「起動ディスク」を開きます。
起動メディアウィンドー内に、先ほど復元したUSBアイコンが表示されていれば成功です。